

2021 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- 〔1〕個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- 〔2〕自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- 〔3〕実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- 〔4〕礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

2 中期的目標

【1】建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。

- (1)あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
 - ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
- (2)教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
 - ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。
 - イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
- (3)総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
 - ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。

【2】18 歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。

- (1)学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
 - ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。
 - イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
- (2)生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
 - ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。
 - イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
- (3)部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
 - ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。
 - イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
- (4)あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
 - ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。
 - イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
- (5)国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
 - ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。
 - イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。

【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。

- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。
 - ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。
 - イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。
- (2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。
 - ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。
 - イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。

【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。

- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。
 - ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。
 - イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。
- (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。
 - ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。
 - イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。

【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。

- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。
 - ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。
 - イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [2021年12月実施] | 学校協議会からの意見 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・評価項目:教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う。・評価方法:各項目について、5段階評価で行う。<ul style="list-style-type: none">5:その通りである4:どちらかといえばその通りである3:どちらともいえない2:どちらかといえば違う1:まったく違う | <p><学校評価委員会を開催>2022年1月実施</p> <p>○昨年度からコロナ禍での教育活動となり、ITCを活用した授業などが取り入れられている。教育は対面が効果的だと思われるが、今後ニューノーマルの世の中では、オンラインやリモートが当たり前になる。社会人となってからも困らないように、情報モラルやセキュリティー面における教育を学校でしっかり取り組んで欲しい。○今年度は、たくさんの学校行事が、いろんな制限の中、工夫を凝らしながらも実施されたことで、子どもたちは前向きに精一杯取り組むことができた。行事は、人間関係の構築や仲間との絆を深める機会にもなるので、これからも中止するのではなく縮小してでも実施して欲しい。例えば、仮装文化祭や体育会、行き先を変更した「修学旅行」など、コロナ対策をしつつ楽しく有意義な行事となるよう、生徒たちと先生方が協力して取り組んだことがよくわかる。「行事に積極的に参加し、充実した行事となっているか」という項目で高評価となっている。また、昨年からは保護者が参加出来なかった行事やクラブ活動の様子などを、ミマメルメ(一斉配信メール)の動画やインスタ、Facebookでの配信により、子</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>もたちの様子を見ることができて大変ありがたかった。今年の体育会は、YouTube 配信され画像も綺麗で見やすかった。</p> <p>○「クラブ活動」においては、ただ強くなることだけを目標にするのではなく、学習面、日常の生活面においても前向きな取り組みをすることが大切だと指導していただいている。さまざまな壁にぶつかることもあったが、先生や先輩・仲間に支えられて乗り越えている。細やかなご指導、サポートを今後もお願いしたい。「クラブ活動」への満足度も高かった。大会や発表会が中止となる事もあったが、他の形で日頃の成果を発表できる場があればよいと思う。○「進路指導」については、キャリア学習が1年生の時からしっかり行われ、3年生になって慌てる事のないように指導されている。本人の希望に合わせた情報の提供もあり、先生方も親身になって相談にのっていただいた。高校の次の進路は将来の仕事につながることを、子ども達に強く意識づけるために、今後もキャリア教育に力を入れていただきたい。○一斉メール配信システム「ミマモルメ」で、学校からの連絡を受信できることは大変役立っている。今後も大いに活用していただきたい。</p> |
|--|---|

3 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取り組み内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|-------------------------------------|--------------------------|---|--|---|
| 1. 建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践 | (1)理念・方針にもとづく教育計画の再構築 | 年度の初めに、各学年・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努めます。 | 目標や計画の重要性から教員の自己評価平均4.0(前年3.8)以上を目指します。 | 4月に指導目標・教育活動計画を策定。評価は、3.6と前年度より0.2 下回り、目標までかなりの開きとなりました。 |
| | (2)教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備 | ①学園の特徴を前面に打ち出し、2022年度からの新学習指導要領実施に向けて取り組みます。 ②教員の「授業力」向上のため、研修・会議・委員会・公開授業を活用し、教育課題や指導方法について話し合い有効な実践につなげます。 ③より良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携 | ①は自己評価3.8(前年3.5)、 ②・③は3.7(前年3.5)以上を目指します。 | ①新学習指導要領の実施に向けて準備が進み3.8と向上しました。 ②研修や会議・公開授業を活用することで、少しずつ教員の「授業力」向上への意識が高まり、3.6と少し向上しました。 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取り組み内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|-----------------------------|--------------------------|--|---|--|
| | | を図ります。 ④一貫コース・自分プロジェクトや発展キャリアコース・マイプロジェクトの発表内容である、地域や企業連携としたPBL(問題解決学習)の取り組みを他のコースにも広げていきます。 | | ③評価は、3.3 と目標より大きく下回りましたが、各教科及び学年、各部署での連携の必要性がより明確化されました。 |
| 2 高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤の養成 | (1)主体的・対話的で深い学び(AL授業)の実践 | ①基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化します。 ②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行います。 ③課題解決能力を養うためのAL授業を実践します。 | ①は自己評価4.0(前年3.9)、②は4.0(前年3.7)、③は3.7(前年3.4)以上を目指します。 | 生徒のための授業改革への取り組みを定例化したことで、①は3.9、②は3.8、③は3.5と前年度より向上しました。 |
| | (2)集団・社会に貢献できる態度・実行力 | ①基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかりと行います。 ②クラス活動や行事活動を通して、協働や責任感などの社会性を身につける指導を行います。 | ①は自己評価4.0(前年3.9)、②は4.0(前年3.7)以上を目指します。 | コースによって指導の効果に偏りがありました。 ①は3.8、②は3.6と前年度より少し下回りました。 |
| | (3)部活動を通して心身の鍛錬 | ①短い活動時間で集中し、技術や精神力など自らの心身を主体的に鍛える指導を実践します。 ②協調性や行動力など社会性を身につけるようチームワークを重視した指導を行います。 | 総合的に①・②は自己評価4.0(前年3.9)以上を目指します。 | ①・②は3.8と前年度より0.1下回りましたが、どのクラブも活動を制限されながら、生徒が成長し、公式試合や大会で優秀な成果を残していました。 |
| | (4)市民性を育む教育 | ①18歳の選挙権を見すえて、市民性・主権者意識を育む教育を実践します。 ②よりよい地域を目指したボランティア活動等の集団的、体験的な活動並びに地域活動への参加を推奨し、実践的学習を推進します。 | ①は自己評価3.5(前年3.1)、②は3.3(前年2.9)以上を目指します。 | ①は3.1と毎年低評価でした。今後は、生徒の意見を尊重しながら、主権者意識を育む教育が必要と感じました。 ②は2.9の評価で、実践的学習の推進が非常に難しかった。 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取り組み内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|--|--------------------------|--|---|---|
| | (5)国際的資質を育む教育 | 海外からの研修生・留学生を受け入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣し、これからの社会で必要な国際感覚を育てます。 | 自己評価 3.8(前年 3.4)以上を目指します。 | 国際交流に関しては毎年高評価であるが、前年度同様に海外研修・留学等の実施が難しく、2.9と目標値より大きく下回りました。 |
| 3 人としての在り方・生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識の育成 | (1)自己・他者が共により良く生きようとする態度 | ①学年別にテーマを決め、多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施します。 ②学級生活や活動を通して、多様な価値観を認め合い、仲間と共に調和して生活しようとする態度を養います。 ③年3回のいじめアンケートの実施等、普段から生徒の日々の様子をしっかりと観察し、個人に応じたきめ細やかな指導を行います。 | ①・②・③いずれも自己評価 4.0(前年 3.8)以上を目指します。 | ①・②は共に 3.7 と目標値に達していないが、ITCと65インチのモニターを活用しながら人権教育が図られ、生徒の意識向上に繋がりました。 ③は 3.8 であるが、生徒たちへのアンケートを実施することで、生徒たちが仲間と共に調和し学校生活が送れる指導を行えました。 |
| | (2)一人ひとりのニーズに応じた指導 | ①様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかり理解し、丁寧に対応し支援を行います。 ②生徒のニーズを把握し教職員が連携し、チームとして特別支援教育を実施します。 | ①は自己評価 4.2(前年 4.1)、②は4.0(前年 3.8)以上を目指します。 | ①は 3.8、②は 3.6 と前年度より評価が低くなった。課題を抱える生徒への対応は、教職員が組織的に連携し、個々のニーズを把握しながら、親切・丁寧に対応するよう努めました。 |
| 4 進路目標の実現に向けて、未来を切り拓くキャリア教育・進路指導 | (1)未来の目標を実現する能力 | ①生徒が自分の興味・関心を知り進路目標を考える進路指導を行います。 ②職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施し、キャリア教育を推進します。 | ①は自己評価 4.0(前年 3.9)、②は4.0(前年 3.8)以上を目指します。 | ①は 3.8、②は 3.9 とほぼ同じ評価だった。進路指導は、制限が多い中でも説明会を実施しました。 体験的学習は、概ね実施ができ、生徒の進路選択に繋がっていました。 |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取り組み内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|---------------------------|-----------------------|---|---|--|
| | (2)生徒の目標を実現させる進路相談・支援 | <p>①進学や就職にかかわる進路情報を提供し、丁寧で個性に応じた相談や助言を行います。</p> <p>②生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施します。</p> | <p>①は自己評価4.1(前年4.0)、②は3.8(前年3.6)以上を目指します。</p> | <p>①は3.9、②は3.5と前年度より少し下回りました。進路に関わる情報は、係から学年、担任へと提供されました。そして、担任が中心となって、生徒・保護者に個別で対応しています。講習は、制限の中でも実施ができました。</p> |
| 5 安心・安全な社会を築くための態度と行動力の養成 | 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施 | <p>①マニュアルに沿った避難訓練、大阪880万人訓練等地震・津波・火災等、防災・減災に向けた訓練を実施します。</p> <p>②自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施します。</p> | <p>①は自己評価4.0(前年3.8)、②は3.8(前年3.5)以上を目指します。</p> | <p>①は3.9、②は3.5とほぼ前年度同様であった。防災教育は、ICTとモニターを活用し実施できました。また、避難訓練も日程を変更し実施することで、生徒の防災意識への関心を高めることができました。</p> |